

大問 1

試験番号	出題意図（前期 B 方式：国語）
1	常用漢字の字形や読みの知識を確認する。
2	適切な漢字の選別ができるか否かを問う。
3	文脈を理解する上で、鍵となる単語が把握できているか否か。
4	テーマを理解するにあたって、事実の理解を簡潔に表現できるか否か。
5	文章理解を豊かにする副詞の的確な理解ができているか。
6	頻出外来語の意味ができているかの確認。
7	テーマを理解するにあたって、筆者の考える課題を正しく理解しているか否か。
8	本論の主旨を的確に把握・表現できるかの確認。

大問 2

問題番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：国語）
1	常用漢字が正確に読み書きできるかどうか確認する。
2	（一）内容理解力を確認する。 （二）文章全体の内容理解と要約力を確認する。
3	（一）指示語が何を指しているのか見当をつけ、それに該当する語句を選ぶ力を確認する。 （二）内容理解力を確認する。
4	内容理解力を確認する。
5	文章全体の内容理解と要約力を確認する。

試験番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：英語）
1	内容把握、読解力（読む力）の確認
2	文法理解、語彙力（語彙力）の確認
3	読解力、語彙力（語彙力）の確認
4	会話力（話す力）の確認
5	文章構成力（書く力）の確認

試験番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：数学 I ・ A）
1	数と式（展開、因数分解、不等式）、場合の数（集合の要素の個数、順列）についての理解度を問う問題。
2	2 次関数についての理解度を問う問題。
3	図形の性質についての理解度を問う問題。

試験番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：公共）
1	思想家・宗教家・歴史上の人物とその思想・業績に関する理解を問う。
2	国際貿易の仕組みや経済理論、国際機関に関する理解を問う。
3	社会保障制度の歴史・制度・現状に関する理解を問う。
4	戦後日本経済の変遷と経済・情報化に関する理解を問う。
5	環境問題・環境保全・エネルギー政策に関する理解を問う。

試験番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：生物基礎・生物）
I	人間活動が生態系に与える影響について、生物濃縮、富栄養化、外来種、絶滅危惧種などの基本概念を理解しているかを問う。単なる用語知識に加え、物質が食物連鎖を通じて蓄積する仕組みや、生物多様性の保全に関する思考力を確認する。 問 1、2：生物濃縮と富栄養化について、基本用語を理解し、両者の共通点と相違点を説明できるかを問う。 問 3、4：有害物質が食物連鎖を通じて高次消費者に蓄積する仕組みを理解し、濃度変化を計算・説明できるかを確認する。 問 5、6：外来種や絶滅危惧種に関する基本知識を問うとともに、生物多様性の保全について考える力を確認する。
II	DNA の構造と機能、核酸の構成単位、塩基の相補性、RNA との違い、遺伝子・ゲノム・突然変異の基本的理解を問う。生命現象を分子レベルで捉え、遺伝情報が形質や進化に関わることを説明できるかを確認する。 問 1、2：DNA の立体構造、ヌクレオチドの構成、糖・塩基の名称など、DNA の基本構造を理解しているかを問う。 問 3、4：RNA と DNA の違い、塩基の相補性を理解し、塩基組成をもとに割合を

	求められるかを確認する。 問 5、6： DNA、遺伝子、ゲノム、タンパク質、突然変異、形質の関係を理解し、突然変異が多様性や進化に関わることを説明できるかを問う。
Ⅲ	呼吸と光合成に関する基本的な代謝経路、ATP 産生、二酸化炭素や酸素の出入り、ミトコンドリアでの反応を理解しているかを問う。生体内のエネルギー変換と、生態系における物質・エネルギーの流れを関連づけて考える力を確認する。 問 1～5： 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系に関する基本用語や反応の場、ATP 産生、二酸化炭素・水素イオンの移動を理解しているかを問う。 問 6、7： 呼吸および光合成の全体反応式を理解し、両者の共通点や相違点を正しく判断できるかを確認する。 問 8： 呼吸と光合成を、生態系における物質循環やエネルギーの流れと関連づけて説明できるかを問う。

試験番号	出題意図（一般選抜前期 B 方式：化学基礎・化学）
I	エタノールの分子内脱水反応と分子間脱水反応、段階的な酸化反応、エステル化反応、ナトリウムとの反応、および酢酸の脱水反応によって生じる物質の名称を問うています。
II	アルカリ金属元素の単体の炎色反応の色や周期による傾向的な特徴について、また、塩化ナトリウム水溶液の電気分解において、各電極での反応を反応式で問うています。
III	酸と塩基の中和反応によって生じる正塩について、その名称と化学式を問うています。また、与えられた酸と塩基の組み合わせから、中和反応の化学反応式を表すことができるかを問うています。
IV	原子内の陽子、中性子、電子のそれぞれの数を質量数に基づいて計算すること、相対質量から原子量を求めていることが理解できているかを問うています。